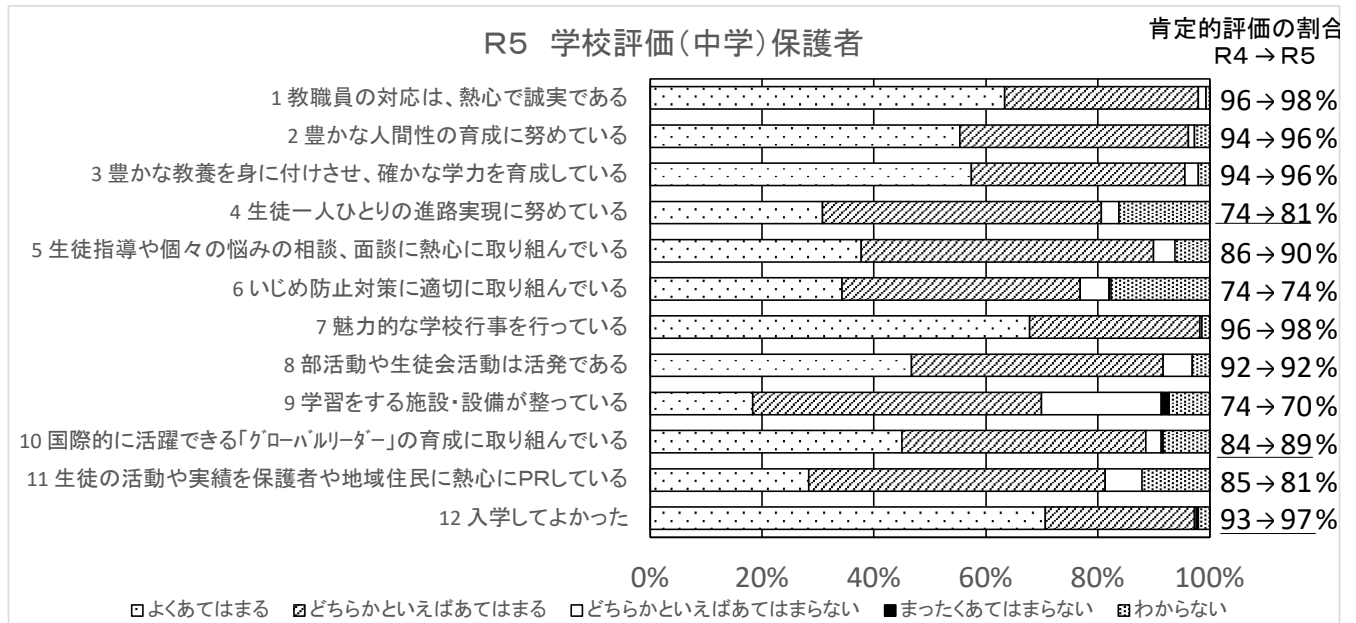
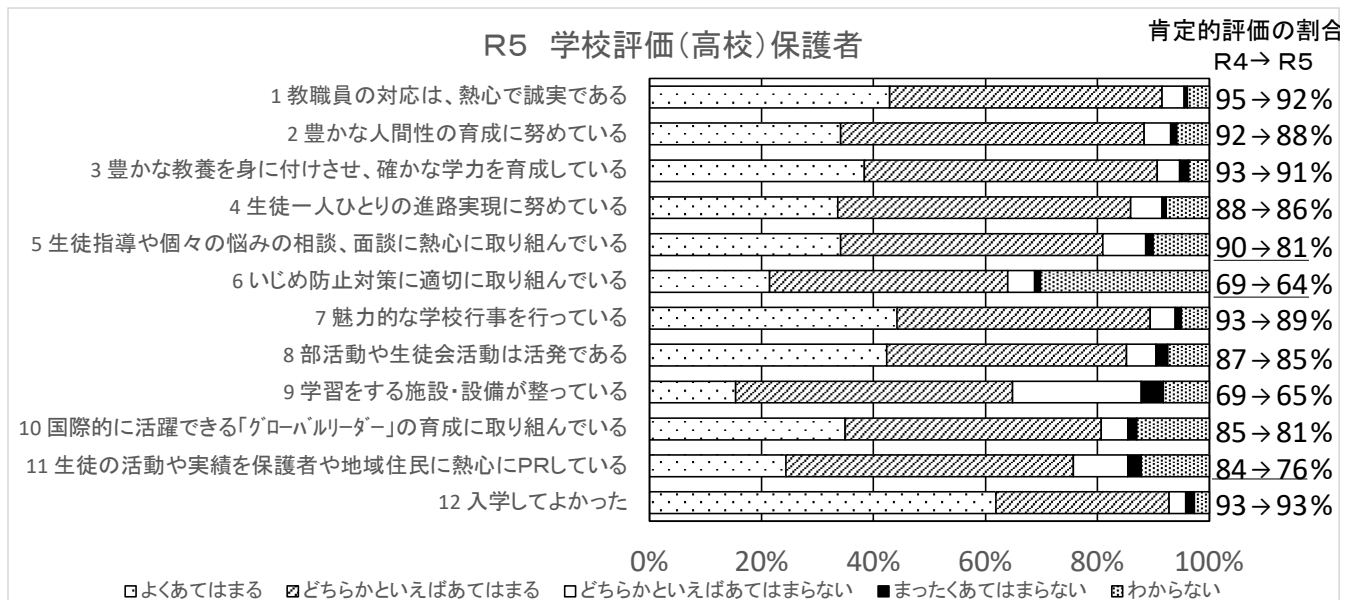


## 令和5年度 学校評価(保護者)の結果について

1. 実施時期 令和5(2023)年12月
2. 実施方法 調査項目はMicrosoft Formsにて実施  
良かった点、改善点は記述欄に記入
3. 調査項目(生徒及び中高共通)及び調査結果  
(1)中学校 回答率91.7%



- (2)高等学校 回答率86.5%



※ 下線部があるものは、5%以上の差があったものである。中学校については、8つの項目で上昇が見られた。特に「4 進路実現」の回答が大きく上昇した。コーポレートアクセスやソーシャルチェンジ等の新たな取組が結果に結びついた。「高校入試＝進路指導」ではなく、その先を見すえた附属中学校ならではの進路指導を評価いただいた。

※ 「6 いじめ防止対策」への「わからない」の回答数が、特に高校で多かった。いじめアンケートを月に1回実施し、適切に対応していることの周知の仕方も課題である。「9 学習施設・設備」と「11 活動のPR」への評価が中高ともに下降した。施設の老朽化や県からの予算の減少は厳しい現状であるが、来年度は教室の空調機器の更新が行われる予定である。そのほかの箇所についても県へ改修等の要望を引き続きしていく必要がある。PR活動については、新たな取組として生徒がHP更新のために学校行事の記事を書く活動を取り入れたが、部活動等の校外活動については、部活動顧問が逐一、情報発信に努める必要がある。そのほか、土曜日の教養講座を生徒とともに学べるよう天神町自治会に周知したり、課題研究として地域課題の解決に積極的に取り組ませたりといった地域に根ざした学校づくりも合わせて推進していきたい。